

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：加藤 宏樹

vol. 32 2026. 10. 6

熊本地震におけるJMAT派遣要請を受けて

令和8年7月28日に発生した熊本地震では、被災地の医療を支えるため、当院から派遣されたDMATコーディネーションチーム(DMATCoチーム)をはじめ、全国からさまざまな医療支援チームが活動しています。今回、当院にもJMAT(Japan Medical Association Team: 日本医師会災害医療チーム)の派遣要請があり、実際の派遣に向けた準備が進められました。

令和8年8月13日

近畿大学奈良病院
院長 村 木 正 人 様
看護師長 宮 本 雅 美 様

奈良県医師会理事
JMAT奈良本部長
増 永 博 幸

「令和8年熊本地震」に係る日本医師会災害医療チーム(JMAT奈良)
隊員の派遣について(ご依頼)

平素より医師会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和8年熊本地震に伴う被災地への医療支援につきまして、日本医師会からの要請を受け、奈良県医師会では日本医師会災害医療チーム(JMAT)を派遣することとなりました。
本会では、被災地における医療支援を円滑かつ継続的に実施するため、医師、看護師及び業務調整員(ロジスティクス担当)からなるチームを編成し、現地へ派遣しております。
つきましては、貴院におかれまして、医師、看護師及び業務調整員(ロジスティクス担当)をご選出いただき、チームとして派遣にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。
ご選出いただく隊員につきましては、別添様式に必要事項をご記入の上、ご回答くださいますようお願いいたします。
なお、ご選出いただいた隊員につきましては、現地の医療ニーズや被災地の状況等により、派遣の必要性がなくなった場合には、実際の派遣を見合わせる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。
ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、被災地の医療支援のため、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

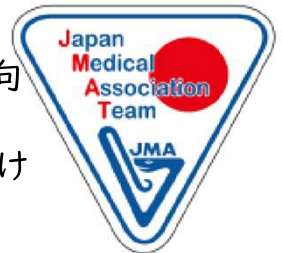
記

1. 派遣先 熊本県八代市または八代郡(予定)
2. 派遣期間 令和8年8月24日(月)～8月27日(木)
3. 派遣チーム 医師1名・看護師3名・業務調整員1名

奈良県医師会 医療第1課
TEL: 0744-22-8502/FAX: 0744-23-7796
E-mail: n-hanasaka@nara.med.or.jp
担当者: 花坂

JMATは、日本医師会のもと、都道府県医師会が被災地へ派遣する災害医療チームです。医師、看護師に加え、現地のニーズに応じて薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、リハビリテーション職、管理栄養士などで構成されます。主な活動は、被災した医療機関への支援、避難所や救護所での診療・健康管理、感染症対策などで、被災地の医療を支えます。

今回、当院にもJMATの派遣要請があり、派遣チームの編成に向けた準備を進めました。医師はチームリーダーとして、訓練を受けたDMAT隊員から選出し、業務調整員はDMAT隊員に限らず、



事務職員から選出する予定としていました。看護師については、院内全職員に協力を呼びかけて募集を行い、派遣者を選出する予定としていました。実際の派遣を想定して勤務調整などを進め、「いつでも被災地へ出られる」体制を整えました。現地の医療ニーズの変化により、今回は当院からの派遣には至りませんでした。しかし、要請を受けて準備を進めたことで、災害時に支援へ動ける体制を整えておくことの大切さを実感しました。

災害医療では、実際に被災地へ派遣されることだけが支援ではありません。要請を受けた際に必要な職種を集め、勤務を調整し、いつでも出動できる準備を整えることも重要な災害対応です。また、災害時の支援にはDMAT隊員だけでなく、多くの医療従事者がそれぞれの立場で参加することができます。今回のJMAT派遣要請を通して、奈良県医師会をはじめとする地域の医療機関や関係者とのつながりが、災害時の医療支援を支えるうえで重要であることを改めて感じました。これからも、必要とされる場所へ医療の力を届けられるよう、日頃から地域との連携と災害への備えを続けていきます。

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)